

※職員の「虐待している」という「自覚」は問いません。
たとえそれが利用者のことを使って行った行為でも
虐待に該当している可能性があります。

身体的虐待

- ・暴力的な行為だけがをさせる
- ・緊急やむを得ない場合以外での身体拘束など

性的虐待

- ・わいせつな映像や写真を見せる
- ・性的な行為を強要するなど

介護・世話の放棄放任

- ・入浴させない
- ・医療で必要でも病院に行かせない
- ・ナースコールを使用させないなど

それ

高齢者の施設虐待かもしれません

一つでも該当する場合は**虐待の可能性**があります。

施設職員による虐待かもしれないと思ったら、一人で悩まずに**相談・通報**してください。
状況をできるだけ詳しく教えていただけだと、迅速な対応につながります。

経済的虐待

- ・日常的に使うお金を使不当に制限する
- ・生活に必要なお金を渡さないなど

心理的虐待

- ・怒鳴る
- ・侮辱的な発言や態度
- ・高齢者や家族の存在や行為を否定するなど

相談
問合せ先

虐待かな…？と思ったら
青梅市健康福祉部介護保険課
☎0428-22-1111(内線2121・2122・2123)

青梅市

健康福祉部介護保険課



Ome Blue®

Let's KAI Gome!



Let's KAI Go me !

事業実施の背景



取り組んだ事業



介護の仕事普及啓発動画の作成



普及啓発イベント



学校訪問（福祉教育・キャリア教育）

1

動画作成のプロセス

企画

募集

打合せ

動画
撮影

編集

確認

公開
 $\times 4$ 人分

4 ~ 5 カ月

ポイント

- ・全てワンストップで1から行ったこと
- ・予算がかかっていない
- ・若手職員のリアルな声が聞ける
- ・仕事のイメージが伝わる
- ・一度作れば横展開がしやすい



1

動画作成の結果

再生回数 (11月末時点)

通常版（15分）とShort版（5分）合わせて

約5000回！

「東京都の介護って素晴らしい グランプリ2024」
優秀賞 !!



その他掲載実績

- (1) ジチタイワークスWeb版への掲載
- (2) 厚生労働省 介護のしごと魅力発信等事業
ニュースレター 「なるほど介護」への掲載
- (3) 東京都福祉局 福祉人材情報バンクシステム
「ふくむすび」への掲載
- (4) 読売新聞（多摩版）への掲載



2

イベントのプロセス



- ・健康まつり
- ・介護の日（産業まつり）
- ・お～ちゃんフェスタ

参加
イベント



庁内のイベントに参加が決定

事業所の
“協力とアイディア”
が必須!!



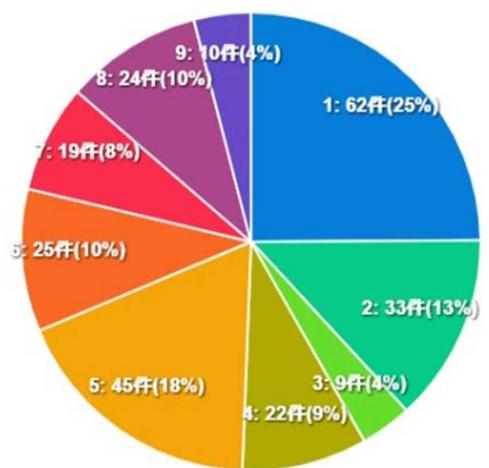
打ち合
サル

本番

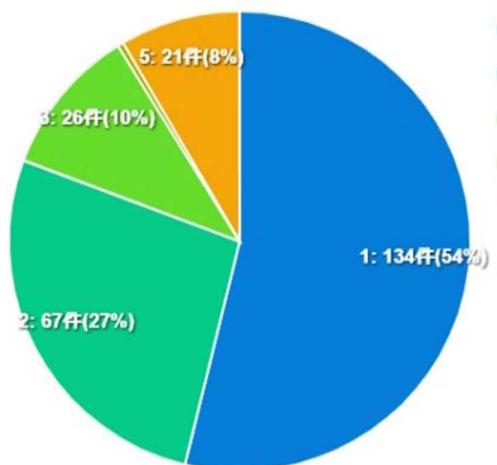
イベントの結果（介護の日）

【体験していただいた 256 名にアンケートを実施】

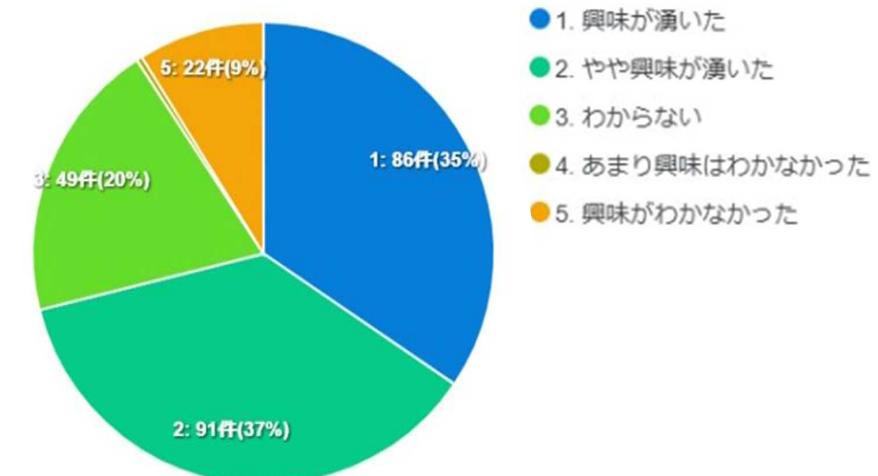
Q 1 ご自身の年代について
教えてください



Q 2 介護のお仕事について
理解は深まりましたか？



Q 3 介護の仕事に興味が湧きましたか？



ポイント

- ・幅広い世代へのアプローチ (30代までが約 50 %)
- ・介護の仕事について（やや）理解が深まった 81 %
- ・介護の仕事に（やや）興味が湧いた 72 %

3

学校訪問のプロセス

高校へ訪問し事業内容の説明
(1年生の進路指導の時間を活用することに)

事業所の代表へ内容の説明

事業所の募集
(8事業所・25名の協力)

打ち合わせ・リハーサル

本番



5ブースに分かれ、様々な介護の仕事に関する説明や体験をしてもらった



歩行筋力向上！？球引き競争！



チャレンジ！脳トレ体操

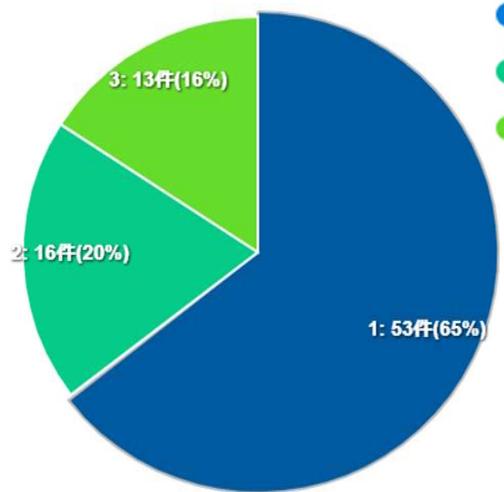


見えにくい視界で豆つかみリレー！

学校訪問の結果

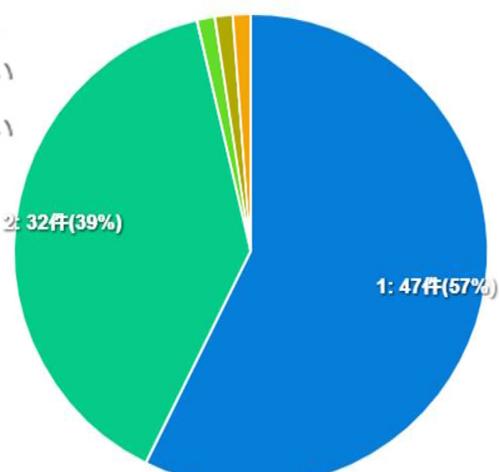
【参加した高校1年生のうち**86**名がアンケートに回答】

Q 1 介護の仕事のイメージは
変わりましたか？



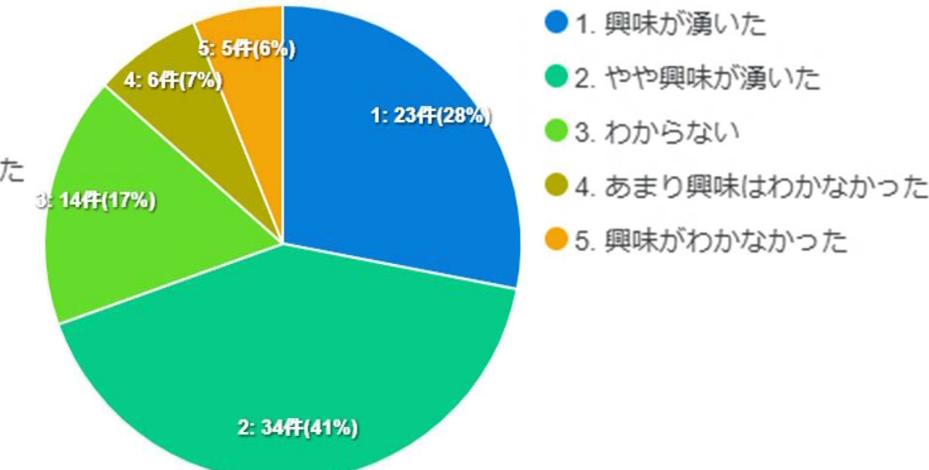
ポイント

Q 2 介護の仕事内容は
わかりましたか？



生徒の感想

Q 3 介護の仕事に興味が湧きましたか？



- イメージが変わった 65 %
- 介護の仕事の内容が（少し）分かった 96 %
- 介護の仕事に（やや）興味が湧いた 69 %
- 車椅子とか乗ることはいいけどいい機会になりました。
- 楽しかった！介護施設に通ってみたい！
- 意外と介護仕事が難しくて興味も湧いたし、働いている人への関心も湧きました。

まとめ

1

まずは第一歩として「介護の仕事を知ってもらおう」というビジョンを介護事業者と関係を築きながら、取り組めたことが良かった。

2

アンケートの結果から当初の目標である介護のイメージを変えるということは少しずつ出来てきている。

3

今後の展望は可能な限り、これらの取り組みを継続して行っていけたらと考えている。一方で、人材対策を考えると普及啓発だけではないため他の取り組みも検討していかなければならぬ。

最後に

実施にあたりまして府内の皆様、介護事業所や学校などの外部組織の皆様のご協力とご理解があってこそできた介護のしごと魅力発信事業です。



ご清聴ありがとうございました

【介護の魅力って！？】
青梅で働く若手介護職員にインタビュー！



ショート版



通常版

青梅市介護イメージ
キャラクター

